

③ほめるのが1番！

「よしこちゃん、上手にできたね！」「かしこいね」

よしこちゃんは、ほめられるのが大好き。ほめられると嬉しくて顔がニコニコしてしまいます。「お母さんにほめられると嬉しい～」「次もがんばろうかな？」と毎日ご機嫌です。そのせいか、最近では、お母さんもニコニコしていることが多く、よしこちゃんを怒る回数が減ってきました。

子どもをほめることはとても大切なことです。しかし、ほめることは簡単そうにみえて、意外と難しく、私たちは子どものできないところ、苦手なところばかりを見てしまいがちです。「こんなのできて当たり前」とほめることをつい忘れてしまうのです。「周りのお友達と比べてできるか、できないか」ではなく、その子自身の良いところをさがしてみましよう。

では、よしこちゃんのお片づけの例を行動のABCで見参みましょう。

行動の前に起こったこと(A)	行動(B)	行動の後に起こったこと(C)
お母さんに「お片づけしようか？」と言われる	おもちゃを片づけた()	お母さんに「よしこちゃん、片づけ上手やね」とほめられた

よしこちゃんは、お母さんにほめられたい一心で、毎日張り切ってお片づけするようになりました。つまり、お母さんにほめられたことでよしこちゃんの「おもちゃを片づける」行動が増えたのです()。



適切な行動を身に付けさせたい場合には、ほめて教えることが1番です。ほめるときには、名前を呼んであげる、すぐにほめてあげる、目を合わせて笑顔でほめる、などを意識してやってみましよう。また、小さい子どもや発達が幼い子どもには、「ほめる」よりも、抱っこや頭をなでる、くすぐる、ご褒美などが効果的な場合があります。年齢が高くなってくると大勢の前でほめられることが逆に恥ずかしくなってしまう場合もあります。その子どもに応じてほめることが、成功の秘訣です。



ルール③:ほめることを忘れないようにする！

